



ばわ～あつぷ まいた

32

令和7年3月発行

第4期南区地域福祉保健計画 令和6年度地区別計画振返り会議

11月6日蒔田コミュニティハウスにて、蒔田地区社会福祉協議会の「令和6年度地区別計画振返り会議」が開催され、蒔田地区社協の各役員・蒔田連合町内会の老人会・女性部・子ども会・青少年指導員・保健活動推進員の各部会長の他、南区役所・南区社協・睦地域ケアプラザから合計19名の参加がありました。

会議では南区社協から「第4期南区地域福祉保健計画」の概要説明があり、その後1年間を振り返り取り組み目標と実績に対して良かった点、見えた課題、今後に向けての工夫点などの意見交換を行い、貴重な意見や提案が数多く出されました。これらの意見や提案は、今後の地域活動に生かしていきたいと思います。



令和6年度 蒔田連合防災講座

11月4日ビエラ蒔田にて、蒔田連合町内会「防災講座」が開催され、各町内会から約70名の参加がありました。令和6年は1月の能登半島地震（最大震度7）に始まり、8月の日向灘地震（最大震度6弱）など各地で地震が発生して大きな被害が出ました。来たるべき大きな地震に備えて、今年は防災訓練に代わり防災講座を開催し、南消防署蒔田出張所の阿部係長より「災害について改めて考えてみませんか？」のテーマで講話がありました。

地震だけでなく台風や大雨など“日本に住んでいる限り自然災害は避けて通れない”との認識で、地域防災力の向上・減災行動・災害が起きた時の対応などの話があり、その後救急隊として派遣された能登半島地震の災害状況や救助活動での経験を報告され、大きな災害が起きた時は地域の力・協力が非常に大切と強調されました。

災害に備え自宅での防災備蓄品の準備、地域での避難場所、避難経路、給水拠点、AEDの設置場所など日頃より確認をしておきましょう。



8050問題勉強会

2月16日蒔田コミュニティハウスにて、蒔田地区社会福祉協議会と蒔田地区民生委員児童委員協議会の共催で、近年社会問題になっている「8050問題」についての勉強会を開催しました。参加者は主に日頃より高齢者の見守り活動をしている町内会自治会会長・民生委員児童委員・保健活動推進員・老人会の友愛訪問員などです。

始めに、8050問題を解決できた例の「カンパニユラの夢」というビデオを鑑賞しました。その後、睦地域包括支援センターの社会福祉士と南区役所生活支援課より講話をいただきました。

引きこもりは、仕事・介護・貧困など様々な問題に起因する社会問題ですが、当事者や家族がどこに相談したら良いかなどの情報を届ける事が重要で、町内会の役員や民生委員などを含め「隣近所のつながり」が支えになります。

強い絆で結ばれた地域コミュニティを目指しましょう。



第3回健康麻雀大会

2月16日蒔田コミュニティハウスにて、蒔田地区社協主催の「第3回健康麻雀大会」を開催し、36名の皆さんが参加しました。

対戦方法はくじを引いてメンバーと卓を決め、昼食を挟んで4局対戦して成績を競い、優勝・準優勝・3位・ラッキー7賞・とび賞などが決まり、豪華賞品が贈られました。

参加者からは、楽しかったのでまた開催して欲しい…などの声をいただきました。



1 藤田敏興さん（中央）
2 渡邊 忠さん（左）
3 野中育子さん（右）

子ども会『みんなで一緒に「みそ」作りませんか？』

11月10日蒔田コミュニティハウスにて、子ども会主催のみそ作り『みんなで一緒に「みそ」作りませんか？』が開催され、午前と午後の2回に分けて子ども達や保護者・地域の方々と62名の皆さんが参加しました。小泉麴屋さんの指導で、豆を潰し、塩と麴を混ぜてこねて、美味しくなれ！と気持ちを込めて1kgの自分のみそを仕込みました。結構な力仕事です。最後にパックに入れ、思い思いのみその名前を付けて書き入れました。出来上がって食べられるのは4月頃だそうで、皆さん楽しみですね。



磯子七福神めぐり

1月5日に青少年指導員主催で、恒例の新春磯子七福神巡りを好天の中で行いました。常連の方、初めての方、20年振りの方など計75名（コロナ禍後最大人数）が参加しました。七つの寺院を参拝し心を清め、記念にスタンプ帳や色紙に各寺院でスタンプを押しました。

途中宝積寺（恵比寿）では御神酒が振る舞われ心を清め、最後の金剛院（大黒天）では甘酒で疲れを癒しました。

参加した皆さんは、心地良い疲れの中、約3時間20分で約9kmを歩き切った達成感で満たされたと思います。



こども和菓子作り教室「かのこ3種」

11月17日蒔田コミュニティハウスにて、蒔田地区社協主催の「こども和菓子作り教室」が開催され、小学生・中学生24名と保護者が参加して、「かのこ」を1人3こずつ作りました。和菓子作りの講師木崎先生のご指導で、ぎゅうひ（白玉粉＋上白糖＋水）をあん（小豆こしあん・白あん）で包み、それを大納言かのこ豆・かのこ豆うぐいす・かのこことら豆でそれぞれ形良く包み、仕上げに艶天を塗ったら艶が出て、とても美味しそうにできました。そして、1つだけ試食をしました。材料が揃っていたので、時間もかからずに、「簡単に美味しくできました！」との感想が聞かれました。



ありがとう食堂 12月

今年最後のありがとう食堂が13日に照隆寺で開催され、子どもから中学生まで22名、大人9名が参加しました。食事前にはオペラ歌手の堀口加奈子さんによるクリスマスの歌やハンドベルをみんなで楽しみました。また、神奈川個人タクシー協会から届いたお菓子や地域の方からのオモチャのプレゼントをいただき、子ども達は大喜びでした。

今月は食材やスープなど沢山のご寄付をいただき、担い手さんたちが美味しいお料理を作ってくれました。メニューは、チキンカツ・コーンスープ・ナポリタンスパゲッティ・ほうれん草のピーナツ和え・ブドウゼリーでした。



子育てサロン「あかいくつ」12月クリスマス会

子育てサロン「あかいくつ」は3日に行われ、17組の親子、19名の子ども達が集まりました。南区社協の「サンタプロジェクト」で会場近くの作業所「サザンワーク」の皆さんが、サンタクロースに扮してプレゼントのクッキーを配って下さいました。主催の蒔田社協からお菓子や飲み物のプレゼント。最後は皆さんで記念撮影！とっても賑やかな時間を過ごしました。終了の時間になっても、「帰りたくない！」と泣き出す子どもさんもありました。来年も元気に遊びに来て欲しいです。



横浜こどもホスピス～うみとそらのおうち～見学

うみとそらのおうち、そこは沢山の人の思いが詰まった、明るくてきれいで温かくかわいなおうち、そのものでした。10月8日、蒔田地区民生委員・児童委員協議会が、大岡・別所・お三の宮・堀睦の民児協の皆さんと共に見学をしました。

ここは、代表の田川さんがご自分のお子さんを6歳でがんで亡くされた経験から、限りある命だからこそ豊かに生きる事が大切という思いで、小児医療の環境を整えた、まだ日本には数少ない施設です。病気とともにある子どもが家族と一緒に安心して過ごせる場所を作るため海外の施設を見学し、色んな人に働きかけ多くの賛同者の寄付や協力もあり、ようやく令和3年に開所しました。

重い病気を抱え入退院を繰り返す子ども達も、健康な子ども達と同じようにいつだって遊びたいし楽しみたい！おうちが目指すのは、病気とともにある子どもと家族が安心して過ごせる場所、限られた時間であっても、それが永遠に輝く思い出になるような、そんな場所です。残された家族の悲しみや喪失感に寄り添ってサポートする「グリーンケア」も行っています。



各町内会の年末年始のイベントあれこれ

ハロウィン



宮宿花 1・2



共進町 1

餅つき大会



蒔田第一



東蒔田第一



蒔田第二



蒔田第三



共進町 2



東蒔田第二



宮花宿 3・4

焼き芋パーティー & クラフトづくり



共進町 1



社協のホームページ「ばわ～あっぶまいた」もご覧下さい。「蒔田地区」や「蒔田社協」でも検索できます

■発行元 蒔田地区社会福祉協議会

■編集責任者 加藤一雄 ■編集委員 渡辺豊・鈴木久美子・船倉和利

■広報部 E-mail:kouhou@maitashakyo.com URL: <https://www.maitashakyo.com/>

